

大学生による農作物の栽培・食育活動



神戸常盤大学

実施主体名: こども教育学科

担当窓口

教育学部こども教育学科

URL

<https://kobe-tokiwa.jp/section/education/>



活動内容

保育者・教員を目指す学生が、正課授業やゼミ・有志活動として、ジャガイモ・トマト・トウモロコシ・サツマイモ・タマネギ・ハクサイや稲（水田、バケツ）など多様な作物を、植え付けから収穫まで一年を通して育てている。植え付けや収穫には附属幼稚園の子どもたちも加わり、育てた稲は共に脱穀、粃摺りをし、食育にもつなげている。学生が子どもと一緒に土や生き物に触れる世代間交流の場にもなっている。



きっかけ

大学敷地内の里山「ときわの森」で、数年前まで放棄されていた土地を学生とともに開墾し、農園と水田を整備。保育者・教員をめざす学生が、作物を育てる体験を通して自然への感性と実践的な学びを深める場として活用を始めた。



展望

農園での栽培体験を、子どもの豊かな育ちを支える保育・教育の力の育成につなげたい。附属幼稚園や近隣小学校との連携をさらに広げ、大学生・子ども・地域が世代を超えて農や食、自然と関わり合う拠点として発展させ、次代の保育者・教員と地域の食・農への関心を育てることをめざす。



（サツマイモやジャガイモの植付け作業、ジャガイモ掘り）

（ビオトープでの水田づくり、バケツ稲の収穫）